

○第72回プリオン専門調査会

日時：平成24年6月26日（火）9：30～11：37

場所：食品安全委員会 大会議室

議事概要：

- ・ vCJD について、中村専門委員、佐多専門委員から説明がなされ、vCJD の発生数は BSE の発生頭数との関連がみられ、ほぼ終息に向かいつつあること及び BSE プリオンに対する感受性は、ウシに比べてヒトの方が低いと考えられることが確認された。
- ・ 非定型 BSE について、小野寺専門委員から説明がなされ、ほとんどが8歳以上と高齢で発生していること、及び定型 BSE と異なり、おそらく孤発性と考えられることを踏まえた評価を行うことが可能と考えられることが確認された。
- ・ 米国・カナダの発生状況等について筒井専門委員から、また、各国の飼料規制等の状況について山本専門委員から、それぞれ説明がなされた。米国・カナダについて、実際の発生状況や飼料規制・サーベイランス等の状況から、飼料規制の一定の有効性は確認されつつあると考えられることが確認された。
- ・ 評価結果のとりまとめ方について審議が行われ、諮問事項のうち、国内の検査対象月齢及び SRM の範囲並びに米国、カナダ、フランス、オランダからの輸入対象月齢及び SRM の範囲に関し、規制閾値を 30 か月齢とした場合のリスクの比較に関して意見を求められている部分について、各国における BSE の発生状況、飼料規制等の状況、感染実験に関する知見等に基づき、評価結果をとりまとめることとされ、次回に向けて、起草委員の協力を得ながら、評価に関するたたき台を用意し、議論を進めていくこととされた。
- ・ 次回の開催については、日程調整の上、決定することとされた。

以上